

（５） 東部地域 ～わたらせの水土里に未来をのせて～

「水」の保全整備

- 老朽化した農業水利施設の補修・補強・更新を適切に行うことにより、東部地域の農業を支えてきた農業水利施設を保全し、安定的な食料生産を支えます。
- 農業水利施設の管理主体である土地改良区の体制強化の取り組み及び維持管理費軽減対策を支援し、地域農業の安定を図ります。

◆ 管理の適正化

	計 画	実 績	評価
取組内容	➤ 県管理施設の適切な維持管理 ----- 2地区を実施 ※ 太田頭首工、邑楽頭首工		
	（今年度の取組内容） ・ 関係土地改良区と連携して、適時適切な維持管理や施設の運用を行う。		

数値目標

目標名	H26 (基準年)	H27	H28	H29	H30	H31(R元) (目標年)
県管理施設の適正な維持・保全 [地区]						
目 標	—	—	2	2	2	2
実 績	2	2	2	2	2	

※ 数値は、単年度取組数。

◆ 農業水利施設の保全

・ 施設監視の継続実施

	計 画	実 績	評価
取組内容	➤ 機能保全計画に基づく、施設監視 ----- 6土地改良区を指導・支援 ※ 待矢場両堰、岡登堰、藪塚台地、大間々用水、 邑楽、利根加用水		
	（今年度の取組内容） ・ 土地改良区が管理する農業水利施設において、基幹水利ストックマネジメント事業により策定した機能保全計画（施設監視計画）に基づいて、施設監視を指導・支援する。		

・ 農業水利施設の保全対策の推進

	計 画	実 績	評価
取組内容	➤ 機能保全計画に基づく、基幹農業水利 施設の保全対策 ----- 2地区を実施 ※ 大間々用水、深沢川頭首工		
	（今年度の取組内容） ・ 大間々用水地区は、予算配分に応じた工事計画に見直しを行い、断水期を調整して隧道対策工事を実施する。 ・ 深沢川頭首工地区は、2期工事を早期着工して対策工事を進める。		

数値目標

目標名	H26 (基準年)	H27	H28	H29	H30	H31(R 元) (目標年)
農業水利施設の機能保全計画に基づく施設監視の継続実施 [地区]						
目標	—	—	6	6	6	6
実績	6	6	6	6	6	
基幹農業水利施設の保全対策に着手した地区数 [地区]						
目標	—	—	2	3	4	5
実績	—	1	2	3	3	
保全対策により農業用用水の安定供給が図られた農地面積 [ha]						
目標	—	—	358	739	1,403	1,970
実績	—	—	140	592	<u>767</u>	

※ 数値は、累計値。また、数値の下線 は、見込み。

◆ 施設管理者の体制強化

・体制強化基本計画の策定

	計 画	実 績	評価
取組内容	▶ 土地改良区体制強化基本計画の推進 13 土地改良区の計画進行管理支援 ※ 待矢場両堰、岡登堰、藪塚台地、阿左美沼、大間々用水、早川、上野、勢多郡東村、邑楽、近藤沼、赤郷台地、板倉台地、利根加用水		
	(今年度の取組内容) ・全ての土地改良区で策定が完了していることから、引き続き東部土地改良区ネットワークなどの機会を活用し、土地改良区体制強化基本計画の着実な実施を支援する。		

・業務継続計画の策定

	計 画	実 績	評価
取組内容	▶ 業務継続計画（BCP）実行の支援 ----- 7 地区を支援 ※ 待矢場両堰、岡登堰、藪塚台地、大間々用水、勢多郡東村、邑楽、利根加用水		
	(今年度の取組内容) ・業務継続計画策定済みとなった 7 土地改良区に対し、計画の実行について引き続き支援を行う。		

数値目標

目標名	H26 (基準年)	H27	H28	H29	H30	H31(R 元) (目標年)
土地改良区体制強化基本計画を策定した土地改良区数 [土地改良区]						
目標	—	—	13	13	13	13
実績	—	—	13	13	13	
業務継続計画を策定した土地改良区数 [土地改良区]						
目標	—	—	—	1	5	7 (4)
実績	—	—	1	5	7	

※ 数値は、累計値。

◆ 農業用水の活用（小水力）

	計 画	実 績	評価
取組内容	▶ 小水力発電施設の運営支援 ----- 2地区を支援 ※ 矢場、大間々用水		
	（今年度の取組内容） ・発電開始に伴い発生した諸課題に対して、必要に応じた支援を行う。		

数値目標

目標名	H26 (基準年)	H27	H28	H29	H30	H31(R 元) (目標年)
農業用水を活用した小水力発電施設の稼働数〔施設〕						
目 標	—	—	—	1	2	2
実 績	—	—	—	1	2	

※ 数値は、累計値。

「土」の保全整備

- ▶ 農業競争力強化を図るべく地域の実情に即した生産性の高いほ場整備を行い、営農効率向上に有効な農地の面的集積・集約化を推進します。
- ▶ 市町の被害防止計画に基づき行う野生鳥獣被害防止対策を支援し、耕作放棄地の発生を未然に防ぎます。

◆ 農地の有効利用と意欲ある担い手の育成のための基盤整備

	計 画	実 績	評価
取組内容	▶ 農業生産性の向上と担い手への農地集積を促進するための基盤整備 ----- 2地区の基盤整備を実施 ※ 五箇谷、下江黒		
	（今年度の取組内容） ・五箇谷地区は、区画整理工事を実施するとともに未同意者の同意取得を進め、来年度工事予定箇所の設計を行う。 ・下江黒地区は、農地集積を促進するため農業生産法人設立に向けた支援を行う。		

数値目標

目標名	H26 (基準年)	H27	H28	H29	H30	H31(R 元) (目標年)
区画整理による整備面積（水田・畑）[ha]【4年間】						
目 標	—	—	12.3	35.3	58.3	95
実 績	—	—	11.2	<u>20.4</u>	<u>26.0</u>	

※ 数値は、累計値。また、数値の下線 は、見込み。

◆ 水田再整備

	計 画	実 績	評価
取組内容	▶ 畦畔除去による農地拡大 ----- 1地区の10a区画拡大を支援 ※ 城沼		
	(今年度の取組内容) ・今年度実施方法等について、市町等事業主体の支援を行う。 ・来年度計画地区について、関係者と調整を行う。		

数値目標

目標名	H26 (基準年)	H27	H28	H29	H30	H31(R元) (目標年)
10a区画水田の農地拡大をした面積 [ha] 【4年間】						
目 標	—	—	18.7	40.0	60.0	80
実 績	—	—	26.4	38.9	<u>49.0</u>	

※ 数値は、累計値。また、数値の下線 は、見込み。

◆ 野生鳥獣被害防止

	計 画	実 績	評価
取組内容	▶ 侵入防止柵等の設置 ----- 1市を支援 ※ 桐生市		
	(今年度の取組内容) ・侵入防止柵の設置支援を行う。		

数値目標

目標名	H26 (基準年)	H27	H28	H29	H30	H31(R元) (目標年)
野生鳥獣被害防止対策を支援した市町村 [市町村]						
目 標	—	—	1	1	1	2
実 績	(2)	—	2	1	1	

※ 基準年の（ ）内は、過去4年間（H25～27）の実績であり、今後4年間で同数の実施・支援を目指す。

※ 数値は、単年度取組数。

「里」の保全整備

- ▶ 近年の集中豪雨、台風等に起因した農地の湛水被害が防止できるよう、地域排水対策を実施し、安定的な食料生産が維持できるよう取り組みます。
- ▶ 自然災害及び老朽化などにより周辺地域に被害を及ぼす恐れのある「ため池」の点検診断を行い、安全で災害に強い農村づくりを目指します。

◆ 安全な農村づくり

	計 画	実 績	評価
取組内容	▶ 湛水被害対策のための農業用排水路の整備 ----- 排水施設整備工事を実施 ※ 大久保		
	(今年度の取組内容) ・大久保地区は、地元及び関係機関との調整を行い、用地買収及び排水路工事を実施する。		

・ 排水管理の維持・充実

	計 画	実 績	評価
取組内容	▶ 水管理施設の更新整備 ----- 1地区の実施 ※ 渡良瀬川中央		
	(今年度の取組内容) ・効率的な排水管理を行うため、水管理システムの子局の改修や追加整備を実施する。		

数値目標

目標名	H26 (基準年)	H27	H28	H29	H30	H31(R 元) (目標年)
湛水被害防止面積 [ha]						
目 標	—	—	—	4.8	11.6	17.7
実 績	—	—	—	5.5	<u>11.0</u>	

※ 数値は、累計値。また、数値の下線 は、見込み。

◆ 災害に強い農村づくり

・ ため池における耐震性能の確認

	計 画	実 績	評価
取組内容	▶ 耐震性点検調査 ----- 2地区（18施設）を支援 ※ 太田 4（16施設）、みどり 1（2施設）		
	(今年度の取組内容) ・農業用ため池の耐震性点検の支援を行う。		

・ハザードマップ作成の支援

	計 画	実 績	評価
取組内容	▶ ため池のハザードマップ作成 2 地区（15 ケ所・18 施設）を支援 ※ 太田 1（13 ケ所・16 施設）、みどり 1（2 施設）		
	（今年度の取組内容） ・農業用ため池のハザードマップ作成の支援を行う。		

・防災重点ため池の改修

	計 画	実 績	評価
取組内容	▶ ため池の健全度確保のための整備 ----- 1 地区を実施 ※ 早川貯水池		
	（今年度の取組内容） ・堤体の長期的な健全度確保のため、堤体表層部の補修補強等のため池改修を行い、下流域への防災減災機能を向上させる。		

数値目標

目標名	H26 (基準年)	H27	H28	H29	H30	H31(R 元) (目標年)
耐震性能を確認したため池数 [地区]						
目 標	—	—	11	14	17	20
実 績	2	3	11	14	<u>19</u>	
ハザードマップの作成を支援したため池数 [ため池]						
目 標	—	—	10	13	16	19
実 績	—	—	10	13	<u>18</u>	
耐震性能を確認した農業水利施設（ため池除く）数 [施設]						
目 標	—	—	—	22	48	48
実 績	—	—	—	34	<u>48</u>	

※ 数値は、累計値。また、数値の下線 は、見込み。

「協働」

- 農地・農業用施設などの資源や農村環境を地域で守り、保全していくための体制づくりを支援します。
- 農地周り・水路・農道の草刈りや泥浚い、景観形成のための植栽、農業用施設の長寿命化に向けた補修・更新などの協働活動を支援し、農村振興を図ります。

◆ 農村地域の資源保全と地域コミュニティの発揮

	計 画	実 績	評価
取組内容	➤ 地域資源の維持・保全が図られた農地面積 ----- 5,277 ha を支援		
	(今年度の取組内容) ・市町村及び土地改良区と連携し、協働活動に取り組んでいる組織の適正な活動と継続への支援及び新たに協働活動を要望する地域への推進を図る。		

数値目標

目標名	H26 (基準年)	H27	H28	H29	H30	H31(R元) (目標年)
多面的機能の維持・保全が図られた農業集落数 [集落]						
目 標	—	—	107	135	180(141)	161
実 績	79	124	135	180	<u>180</u>	
農地・農業用施設の維持・保全が図られた農地面積 [ha]						
目 標	—	—	3,483	3,753	4,610(4,374)	5,277
実 績	2,583	2,829	3,545	4,610	<u>4,612</u>	
地域構想づくり支援実施モデル地区数 [地区]						
目 標	—	—	1	1	→	1
実 績	1	1	1	1	<u>3</u>	

※ 数値は、累計値。また、数値の下線 は、見込み。